

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

# Dogushi

胴串 -どぐし-

Vol.23 Autumn 2018

## 特集

海外の人形劇フェスティバルを訪ねて  
韓国・春川人形劇フェスティバル編

Dogushi Vol.23 2018年11月発行 発行：人形劇のまち飯田「運営協議会」  
制作：NPO法人いいだ人形劇センター TEL:050-044-3050 FAX:050-044-3054 E-mail: itda-puppet@mis.janis.or.jp

## 掲示板 いいだ人形劇センターからのお知らせ

### 人形劇定期公演を観て スタンプを集めよう!

飯田人形劇場を会場に毎月開催される「人形劇定期公演」。平成27年10月から回を重ねること22回。小学校の人形劇クラブや市民劇団、いいだ人形劇センターの人形劇講座受講者が日ごろの活動や成果を発表しています。

昨年4月からスタンプカードがスタート。定期公演を観劇するとスタンプが1個もらえ、3個集めると専門劇団の公演を優待価格で観劇、水引指人形と交換などの特典付き。友人や知人、ご家族お誘い合ってお出かけください。上演劇団も随時募集中です。



- 今後の予定  
12月15日(土)、1月20日(日)  
2月23日(土)、3月17日(日)
- 料金 / 200円 (3歳未満無料)
- 問合せ / いいだ人形劇センター  
☎050-3583-3594

Dogushi

## 並木 さんぽ

今秋、いいだ人形劇フェスタが友好提携を結ぶ韓国・春川人形劇フェス、台湾・雲林人形劇フェスを訪ねる機会に恵まれました。8月に飯田でお会いした劇団や関係者の方々とは再会し、思い出話を花を咲かせ、観劇を楽しみました。それぞれのフェスで感じたのは学生ボランティアの活躍。飯田のフェスタも多くのボランティアが支えています。会場内や通訳などさまざまな場所で、もっと若者が活躍する姿が見られるといいな、と感じた旅でした。

次号は1月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子

## View of IIDA



“人形劇のまち飯田”の新しいモニュメント「新人形とけい塔ハミングバル」が8月に完成・お披露目されました。定時になると「時の番人」の合図とともに、「ぼお」と丘の上の音楽隊がいいだ人形劇フェスタのテーマソング『僕たちのフェスタ』を演奏します。

※午前8時から午後7時までの毎正時、1日12回、からくり人形が動きます

## AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

### トローサ(スペイン)

トローサは、スペイン最北部のバスク州にある人口2万人弱のまち。今年のいいだ人形劇フェスタに登場した「トローサの巨人」は、このまちの様々なお祭りに欠かせない、幅広い世代に愛される伝統芸能です。

巨人の体長は4m、重量は60kgもあります。そんな重量とは裏腹に、鼓笛隊の軽やかなメロディに合わせてクルクルと踊る姿は、まるで人形たちの舞踏会。世界にはこんな人形劇もあったのか!とワクワクしてきます。

手法も雰囲気も全く異なる、それぞれの地域に特有の人形文化。人形劇との出会いをきっかけに、世界のことをもっと知りたい!と思う人が増えると嬉しいです。



本町の歩行者天国に現れた「巨人」たち。陽気で軽快ながら大迫力のパフォーマンスを披露しました

Chiyoko





人形劇場敷地内の屋外ステージでは朝から夜まで公演が行われ、多くの市民が観劇していました



韓国の劇団との交流会。各劇団のプレゼンテーションを見せていただき、いくつかの劇団とお話できました。フェスタに呼びたい劇団もいくつか



春川人形劇場

特集

# 海外の人形劇フェスティバルを訪ねて 韓国・春川人形劇フェスティバル編

いい大人形劇フェスタと友好提携を結び、  
韓国の春川人形劇フェスティバルの様子をレポートします。

## 広がる人形劇の輪 30周年の春川を訪ねて

いい大人形劇フェスタ実行委員長 原田雅弘

春川人形劇祭とは、フェスタ10周年の2008年に、台湾の雲林フェスタも含めて、東アジア三天人形劇祭として友好提携を結び、劇団の紹介や派遣、スタッフの相互訪問などを通じて交流を深めています。今年で春川フェスタは30周年。今回の訪問



春川市庁舎前の広場で行われた30周年記念のオープニングセレモニー

なさが悔やまれてなりません。ただ、人形劇の現在、そして未来について議論する場の大切さを改めて認識する機会となりました。

また、翌日行われた韓国の若手劇団との交流会では、それぞれの劇団によるプレゼンテーションにより、彼らの意欲的な取り組みに触れることができ、いくつかの劇団と話しをすることもできて有意義な時間を過ごすことができました。

春川フェスタは、春川人形劇場の敷地内で、すべてのプログラムが行われます。会場のいたるところで人形劇が演じられ、連日多くの市民で賑わっていました。飯田に来てくださった方々との再会もあり、とても素敵な雰囲気のお祭りでした。

今回最大の収穫は、いろんな国で人形劇に関わる方々と知り合えたこと。一口に人形劇と言っても、それぞれに置かれている状況や課題が違うということを感じることができました。

“Who am I?” 私たちの国は、私の父よりも若い。だから多くの若者は自分が何者であるかという命題に答えを持たないまま世界中に散ってゆく。ぼくは人形劇を通し



「30周年記念国際カンファレンス」写真左から韓国総合芸術大学教授チョウさん、世界ウニマ会長ダディさん(インド)、アシテジ韓国会長キムさん、原田、SESI Bonecosフェスティレクターリサさん(ブラジル)、インドネシアウニマ会長サモドラさん

の主目的は、30周年記念国際カンファレンスに報告者として参加することでした。テーマは「現代人形劇の芸術的価値と動向」。「アジアにおける現代人形劇学校設立の必要性」。韓国・インド・ブラジル・インドネシア・シンガポール・日本、各国から集まった皆さんが活動を報告しつつ意見を述べてゆきます。そこでの議論は、大変興味深く、重要な内容を含んでいるという事は感じられるのですが、いかなせんそれを十分に理解できる力がない。自分の語学力の

て、この国の新しい伝統をつくりたいんだ。それがこの命題にひとつの答えを見出すことになると思っている。

道端のテーブルでふたりでビールを飲みながら、シンガポールのテレンスさんが語った言葉が忘れられません。(ぼくの語学力とビールのほろ酔いがそう聞かせたのかもしれませんが…)



訪問最終日、カンファレンスに海外から参加された皆さんと、春川近郊の観光地南怡島(ナミソム)へ。この島は独立国ということになっており、南怡島共和国の「大統領」に謁見させていただきました。歓迎を受けました。日本では『冬のソナタ』のロケ地として有名ですが、島内にはユニセフの施設もあり、子どものための文化事業に取り組んでいます。「平和廊」と名付けられたギャラリーでは、UNHCRやアムネスティなどが主催する『MIGRATIONS: Flight to a Better Future』と題した催しが行われており、世界中のアーティストから寄せられた、世界中で困難に直面している子どもたちへのイラストとメッセージの絵葉書が展示されていました。ただの観光地ではない文化的かつ社会的な取り組みに感銘を受けました



## 帰郷気分の飯田

影絵劇団夢屋 佐久間久子

# 第12回 すべての道は 飯田へ通ず



いい大人形劇フェスタに10回以上参加した劇団がいただける顕彰旗をいただきました

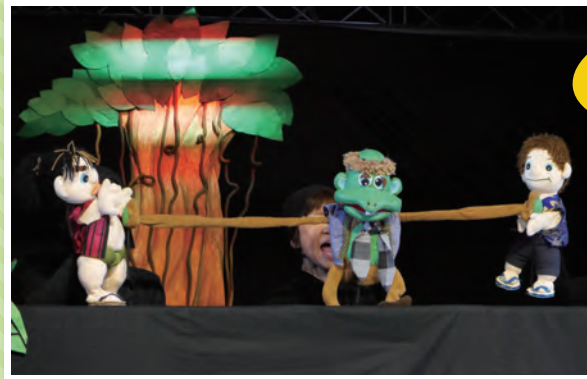


わいわいパレードに参加

「お母さん人形劇」のブームに乗って子育て中に始めた「人形劇」にどっぷりつかって五十年になります。「飯田」へは、観劇参加から始めました。涼しい信州と思った飯田の暑かったこと！ですが、それ以上に飯田は熱かったです。

影絵劇団夢屋の10周年記念に「人形劇カーニバル飯田」上演を実行、それから「いい大人形劇フェスタ」と、25年連続上演活動を続けています。今では劇団にとって最大の楽しい年中行事です。新作の初演は「いいだ」です。劇団員に

とつては、家事・仕事から解放された人形劇三昧の極楽です。ふれあいキャブのおかげで、高齢化した劇団員も広範囲に行動できています。「いいだ」に参加した新人は「こんな楽しい世界が！」と感動！劇団に居付きます。今夏も17人の劇団員で上演参加しました。毎夏参加する飯田は、江戸っ子の私には素敵な故郷です。今では、「只今！」と戻れる宿、食堂、人たちがいます。そして、二年に一回の再会を喜び合う全国からの人形劇仲間もいっぱいいます。次号は「人形劇団わたくも」の伊藤進さんです。



雲林県虎尾市で開催された「雲林国際人形劇フェスティバル」。10/6～13の8日間、農博生態園区と雲林布袋戲館を主会場に100公演行われ、「でんでんむし」は10/12・13に4回公演。個性あるキャラクターの人形や人形の動きに多くのお客様さんが集中。時には中国語のセリフを復唱する様子も見られました



## 台湾・雲林国際人形劇フェスティバルへ潜入!



上演後はお客さんたちと記念撮影。子どもだけでなく大人も列を作って順番待ち



海外からの参加劇団とも交流を深めました(写真はマレーシアの劇団)



台湾公演用に台本を中国語に書き直し。中国語の語学レッスンも行いました

## 突撃!! 人形劇の ゲンバ Part 19

地元のアマチュア劇団の新作づくり、スキルアップをサポートする人形劇講座中級コース。2018年度は2劇団が参加し、そのうち1劇団「でんでんむし」が10月に台湾で開催される「雲林国際人形劇フェスティバル」に参加することが決定。ふだんから上演している作品『いたずらおぼけケンムン』の台本を台湾公演用に書き直し、中国語のレッスンも。台湾公演の様子をおさえるべく「ゲンバ」へ直行しました!

### Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から㊸

### 『おんどりの歌 人形劇に生きる』土方浩平 著

おんどり座は1947年に東京で結成、53年からは岡谷、諏訪を拠点に信州各地で上演活動を続けた土方浩平(1903-1981)の、その活動と人となりを目録風に記している。故郷で猿倉人形を観た少年が、青年期は島崎藤村『仏蘭西だより』に触発され、千田是也らの「人形座」が狼煙を上げた黎明期の現代人形劇に飛び込み、周囲の動きをつぶさに記録した、初期現代人形劇の側面史でもある。後半の年齢差36歳の協働者の夫人とふたりの劇団のまるでドラマのような展開と生きざまは、とても興味深く、発刊当時大きな話題となった。『人形劇にいのち捧げて』と改題し学術文庫で再刊されている。

(人形劇の図書館館長・瀧見英明)



講談社 1971刊

## わくわく イベントスケジュール

### 人形劇in丘のまちフェスティバル

11月3日(祝) 10:30、12:30、14:30  
会場/飯田市川本喜八郎人形美術館 料金/無料 出演/P.ことり座  
上演時間1分、定員2名の日本一小さな人形劇を1時間繰り返し上演

### 森のぼかぼかクリスマス

12月2日(日) 会場/かざこし子どもの森公園  
料金/1,000円~(人形劇公演のみ800円)  
出演/マーガレット一家「かみしばい劇『ぼぼちゃんとおくちゃん』」  
人形劇公演のほか、クリスマスリースやピザをつくる体験を組み合わせたスペシャル企画

### 人形劇定期公演

12月15日(土) 10:30開演予定  
会場/飯田人形劇場 料金/200円(3歳未満無料)  
出演/人形劇団かざこしののはな、ぱべっと・どらら、エリユリ

### ましゅ&Keiのクリスマス会

12月23日(祝) 会場/飯田市川本喜八郎人形美術館  
ましゅ&Keiがゲストを迎えて繰り広げる一日限りの愉快なステージ  
ゲスト/京本千恵美 ※有料

### 初春を寿ぐ竹田人形館

1月5日(土) 会場/竹田人形館  
出演/糸あやつり人形劇団みのむし ※有料

### 人形劇定期公演

1月20日(日) 会場/飯田人形劇場  
出演/遠山☆きらり、慈光幼稚園人形劇クラブきらきら座 ほか  
料金/200円(3歳未満無料)

※開催日時など変更になる場合があります。  
詳細はいい大人形劇センター ☎050-3583-3594へ





龍江地区「天竜峡桜街道」で行われた「シャルルヴィル・メジール通り」の命名式



### シャルルヴィル・メジール市友好都市提携30周年記念事業

シャルルヴィル・メジール市長ボリス・ラヴィニョン (Boris Ravignon) 夫妻が来飯し、8/9に30周年の記念事業が行われました。



飯田人形劇場に設置された友好記念プレート



いいだ人形劇フェスタのインフォメーションを訪ね、案内役の「ペッパー」に話しかけるボリス・ラヴィニョン市長



今年の総会開催を期に、雲林県、春川市、セビリア、南あわじ市の4都市が新たに加盟

### AVIAMA総会

AVIAMA (人形劇の友・友好都市国際協会) の総会を8/11に飯田市で開催。ヨーロッパ外で初の開催となりました。

[加盟都市]  
シャルルヴィル・メジール(フランス)、トロサ(スペイン)、トゥルナイ(ベルギー)、ピルゼン(チェコ共和国)、ピアウイストック(ポーランド)、飯田市(日本)  
[オブザーバー]  
雲林県(台湾)、高雄市(台湾)、春川市(韓国)、セビリア(スペイン)、浜松市、岐阜市、美濃市、瀬戸内市、南あわじ市、大阪市



### — 人形劇のまちが生まれて40年 —

## 世界人形劇フェスティバル いいだ人形劇フェスタ2018



今年のポスターの絵を描いた飯田市内の小学校1年生の「お絵かき」で開幕(オープニングセレモニー)

見どころ盛りだくさん  
海外作品、巨大人形劇、屋外公演



国内外の劇団が人形を手にパフォーマンス(わいわいパレード)



### いいだ人形劇フェスタ



アジア、ヨーロッパ、アフリカなど世界の六大州から飯田へ。多種多様な作品が上演された



全高8メートルの馬が夜空を翔ける巨大人形劇。フェスタ3年ぶりの登壇に会場が執狂



現在上演中の作品より「キナコちゃん和ダンス」(写真左)、「ぼく、ピンチなんです」

時折ワークショップでスポンジ人形を作ったり動かして遊んだり、作品上演に向けた事前座談会でお話をさせてもらう事もあります。忙しい時は忙しく、暇な時は暇。メリハリのある日々です。

◎劇団うりんこ…「夜明けの落語」「キッドナツプ・ツアー」はなのき村(脚本のみ)「なんちゃってヒーロー」(現在脚本執筆中)◎人形劇団芸芸…「どろろヶ淵のメッケ」◎人形劇団むすび座…「かくれ山の大冒険」◎劇団道化…「吉林食堂」等です。

また、最近では他劇団での脚本・演出の仕事が多く、1年間の半分近くが脚本演出という時もあります。他劇団で上演中の作品は、

北村直樹カミナカヒデミの構成2名で九州・佐賀を拠点にして、主に子ども劇場および劇場の例会や地域公演を中心に、ハイエースに舞台セットを積んで全国旅公演をしています。現在上演中の作品は「キナコちゃん和ダンス」「サクラがいく!」「あなたがうまれるまで」「ぼく、ピンチなんです!」「みてても、いい?」の5作品。いずれも対象は幼児・低学年とその親で、前2作品は北村のひとり人形芝居、あと3作品はつげくわえとの合同作品です。どれも舞台規模がやや大きめなので、もう少しコンパクトな規模で幼稚園保育園でも上演しやすい様な作品も創りたいと考えています。それと高学年・大人対象の作品も創りたい。

### 地域劇団の近況

全人協通信  
専門人形劇団事情⑧

### 地域劇団のつづやき

人形芝居つじのキャンパー  
北村直樹

一般社団法人  
全国専門人形劇団協議会(全人協)  
人形劇の普及と芸術性の向上をはかり、人形劇表現への理解と支持を広げることをめざし、1997年に発足。51劇団が加盟しています。